

生徒指導部だより

2020年8月版

4月より新校舎でスタートした新年度でしたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業期間もあり、通学方法や教室等の施設設備を含めた新しい環境に慣れるまでには大変な1学期となったように思います。しかしながら、保護者の皆様のご協力もあり、大きな事故や怪我等なく無事に1学期を終えることができました。新しい学習環境の中での1学期の取り組みについて紹介させていただきます。

○交通安全教室



【中学部】

視覚教材を使って、具体的な場面をイメージしながら学習しました。



【高等部】

最寄り駅からの新しい通学路の動画を見ながら、基本的な交通ルールを確認しました。



【高等部（自転車通学グループ）】

本年度より、自転車通学を希望する生徒には「自転車通学許可願い」を提出してもらうこととなりました。それに伴い、安全な通学に際して、基本的な交通法規や事故リスク、自転車運転スキル等をチェックリストに従って確認をしました。

※本年度、新たに「通学の手引き」を作成しましたので、通学全般に関する詳細についてはそちらをご確認ください。



○オンライン全校集会(6月)



新型コロナウイルス感染症予防の観点から、全体での集会活動（全校集会）の計画を見直し、3密を避けて実施する形でのオンライン全校集会を実施しました。各特別教室に分かれての実施となったため、いつもとは違う雰囲気でも戸惑いもあったかもしれませんが、今後も状況に応じて感染症対策を講じながら、限られた全校集会の機会を効果的に実施していきたいと思えます。

○児童生徒会・委員会活動・学部集会



【小学部】

今年度初めての児童会総会を行いました。委員会ごとに一人一人取り組むことや頑張ることなどをみんなの前で発表することができました。



【中学部】

学部集会で、委員会の発表を行いました。各委員会から伝えたいことやお知らせしたいことを発表することができました。





【高等部委員会活動】

今年度から委員会活動の時間を設定しました。自分たちの学校をより良くするために、それぞれの委員会に分かれて、活動目標や内容を考えました。



【整美委員会 活動の様子】

月に1回、整美委員会のメンバーで校内清掃に取り組んでいます。新校舎は広くて大変ですが、綺麗な校舎を保つためにも、責任の大きい仕事です。

【放送委員会 活動の様子】

新校舎の放送室です。本格的な放送設備の扱いにも慣れ、朝は中学部、昼の放送を高等部が担当しています。担当日を忘れることなく、それぞれ趣向を凝らして放送の仕事に取り組んでいます。



○情報モラル学習(7月:高等部)



近年のスマホやネットに関する諸問題が連日ニュースに挙がっていることや、本校においてもスマホやSNS活用におけるトラブルが増加傾向にあることから、情報モラルの学習を学年別を実施しました。

スマホを持つことでのメリット、デメリット(リスク)、個人情報取り扱いやSNS活用における注意点等を学年の実態に応じてそれぞれ確認しました。

学年ごとにまとめたものを、生徒の目に触れるよう職員室前の廊下に掲示しました。来校した際には是非ご覧下さい。

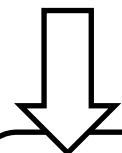


～スマートフォン、インターネット利用にあたって～

以下はモバイル社会研究所(NTTドコモの研究所)の最新の調査結果なのですが、「各学年のスマホの家族間ルール」と「ルールを決めている家庭の割合」をまとめたものです↓

小学1～3年	小学4～6年	中学1～3年
スマホを使うのは決められた時間だけ		
79%	80%	70%
スマホを使うのは決められた場所だけ		
49%	61%	44%
食事中にスマホを利用しない		
68%	74%	82%
アプリをダウンロードするときは親に相談し、追加料金が掛からないようにする		
66%	80%	77%
ながらスマホ(歩きスマホや自転車に乗りながらのスマホ利用)はしない		
43%	71%	72%
悩みや困ったことがあったら保護者などに相談する		
38%	64%	66%
個人情報や本人だと特定できる写真をネット上にアップしない		
36%	59%	68%
LINE以外のSNS(Twitterやインスタなど)で情報発信しない		
28%	52%	52%
LINE・Twitter・掲示板などで個人情報や友達の悪口を書かない		
23%	52%	68%
面識のない人とは連絡や連絡先の交換をしない		
40%	70%	75%
子供のLINEやメールのメッセージを親が確認する		
30%	41%	38%

※NTT ドコモモバイル社会研究所より



「知らなかった。」では済まされないのがネットトラブルです。安易な気持ち、考えてトラブルの渦中に巻き込まれるリスクもあります。早期段階より、明確な家庭内ルール作りをお願いします。

以前に比べて、スマートフォンの普及率も高まり、インターネットにも気軽にアクセスして様々なコンテンツを楽しむことが容易にできるようになりました。各家庭においては、右図を参考としながらお子様をネット被害から守るためにも「家庭での使用ルール」を再確認して頂きますようお願いいたします。

また、便利で有効なツールも、使用方法を誤ると下のイラストのような弊害も考えられます。成長や生活リズムに合わせた使用の仕方、ルールを家庭内で相談しながら適切に使用してください。

睡眠時間

夜使っていると睡眠不足になり、体内時計が狂います(脳が昼と夜の区別ができなくなります)。

体力

体を動かさないと、骨も筋肉も育ちません。

学力

スマホを使うほど、学力が下がります。

スマホの時間

わたしは何を失うか

脳機能

脳にもダメージが!!

長時間使うと、記憶や判断を司る部分の脳の発達に遅れが出ます。

視力

視力が落ちます(外遊びが目の働きを育てます)。

コミュニケーション能力

人と直接話す時間が減ります。

公益社団法人 日本医師会
公益社団法人 日本小児科医会



・インターネット利用にあたっては保護者の法的責任が規定されています。

家庭のルール



保護者の責務

「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律(青少年インターネット環境整備法)」

法律にも子供にインターネットを利用させる際の保護者の責務が規定されています。

- ・子供のインターネット利用状況を適切に把握する
- ・フィルタリング等の利用により、子供のインターネットの利用を適切に管理する
- ・子供がインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努める
- ・不適切な利用により、売春、犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに留意する